

ケーススタディ レビナケア付き 移動チェア



TENTE

BETTER MOBILITY. BETTER LIFE.

自由 自分を助けるため

慢性的な病気や障害のある人にとっては、自分の人生の一部を形作ることが特に重要です。VELAチェアは、人々が独立して生活し、自宅で移動するのに役立ちます。Levinaのケアキャスターは、この椅子を可動式にします。



出発点

Vermund Larsenによって設立されたデンマークのVELAは、50年以上にわたり慢性疾患または障害を持つ人々のための椅子を生産しており、約90年間デザイナー家具を生産しています。ファミリービジネスは、人間工学に基づいた椅子の開発と製造のパイオニアであり、TENTEと同様に世界中で活動しています。TENTEの長年のパートナーは、新しいVELAチェアシリーズのキャスターをそのコンセプトに適合させたいと考えていました。椅子と同じように、デザインと人間工学、そしてそれゆえに機能も、手を組むべきです。移動可能でなければなりません。ロック機能は、安全で簡単、かつ静かで、モダンでなければなりません。

したがって、私たちの仕事は、デザイン、形状、機能を組み合わせたモビリティソリューションを開発することでした。

郡内移動

50年前に主婦の椅子と呼ばれていたVELAの椅子は、そのユーザーを他人の助けにあまり依存させません。住宅、アパート、職場のほか、木材やプラスチックの床、平坦な布製のカーペットやタイルに適しています。

キッチンで調理ボットを見るのに苦労しているなら、電気高さ調整可能なVELAチェアで、より見やすい直立位置に移動できます。ベッドから起き上がるのが困難な場合は、アームレストを折り畳んで椅子に滑らせることができます。折り畳むと、ユーザーは座席の高さを設定できます。この椅子を使用すると、掃除機を手に取り、家事の一部を自分で引き受けることができます。あるいは、椅子の台所に座ってコーヒーを淹れることもできます。これらはすべて、慢性疾患や障害を持つ人々が他人の助けに頼ることが多い活動です。椅子は、300キログラムまでのさまざまなサイズとデザインがあり、子供用のモデルもあります。



当社のインテリジェントモビリティソリューション

1年以上にわたり、TENTEとVELAの製品開発者と製品マネージャーは協力して、LEVINAのケアをVELAの椅子の要件に正確に合わせることができました。販売およびサービス部門の従業員は定期的にユーザーと話をするため、彼らの経験はユーザーのニーズにVELAチェアをより良く適応させるために使用されました。

椅子には4つのキャスターがあり、中央のロック機能があります。TENTEのレビナケアは、以前使用されていたキャスターに比べて大きな利点があります。それは以前のキャスターよりも軽く、チェアをより軽く、より可動性にします。レビナケアは小さく見え、旋回干渉が小さいため、キャスターが椅子から出にくくなります。Levinaケアは、ユーザーがロックするために使用するチェンジレバーのためのスペースを椅子に与えます。そうすれば、より良く到達できる。さらに、キャスターは静かで安全です。TENTEは切り替えノイズをまったく省略しないため、ユーザーは自分が安全であることに気づきます。

椅子は個別に調整され、キャスターも

椅子の高さは個別に調整されます。彼らはディフレントシート、背もたれ、布張りを持つことができます。お客様は自分の希望をカラーで表現し、自分のファブリックで送ることもできます。結局のところ、ユーザーは一日の大部分をVELAチェアに費やしています。電波駆動版も市場に初登場です。

TENTEのLevinaケアは100ミリメートルと125ミリメートルで利用でき、導電性版としても利用でき、新しい適用領域を可能にします。これらすべてにおいて、キャスターはモダンでシンプルなデザインを持ち、さまざまなフィッティングエレメントと

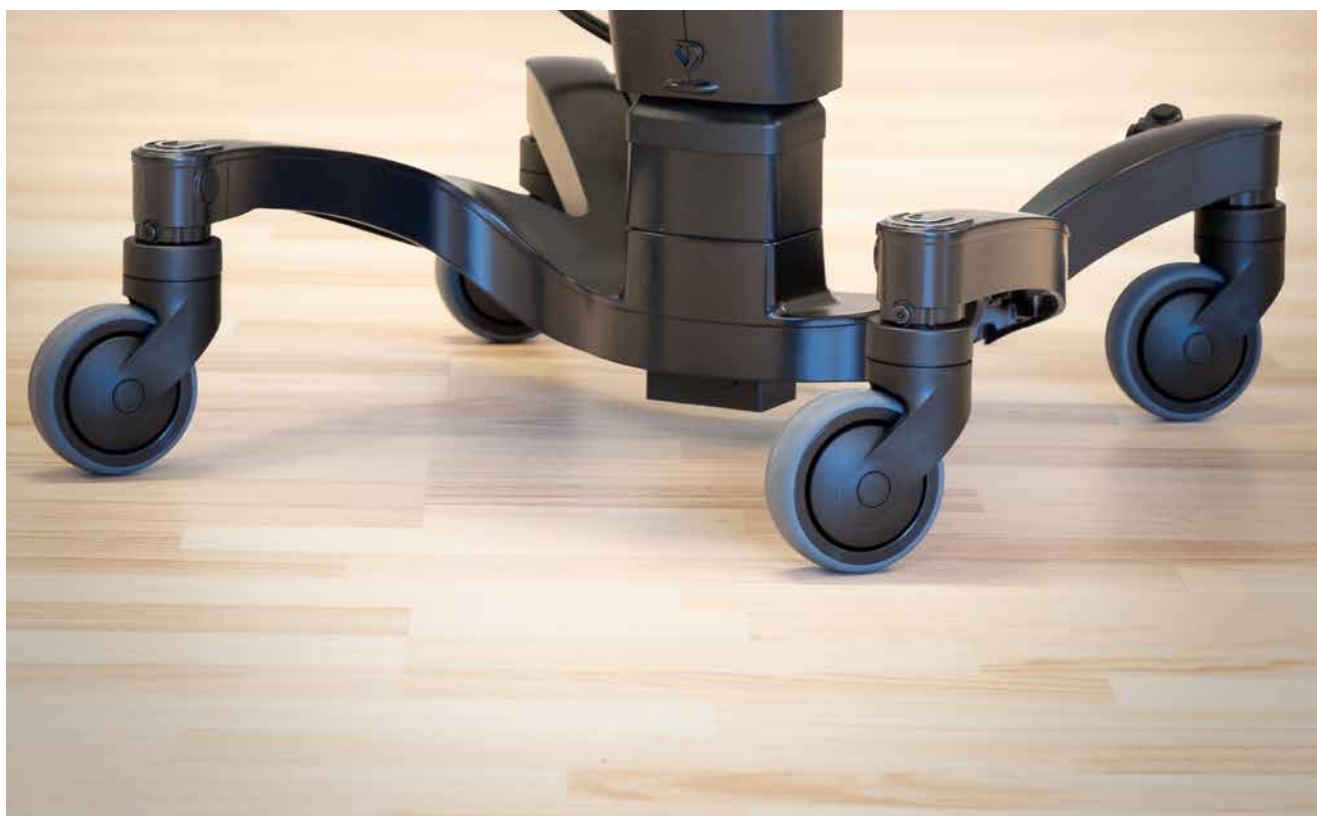
VELAの意味で、いくつかの色で：デザイン、形、機能を一つにまとめる。

それは以前のキャスターよりも軽く、チェアをより軽く、より可動性にします。



サプライヤーであるTENTEと私たちの信頼関係は、より良い製品の開発に明らかに貢献しています。

Mathias Haslund Jungersen VELA製品開発マネージャー
Sanni Jørgensen VELAマーケティングマネージャー







www.tente.com



生産性



安全性



デザイン



耐久性



環境